

### 学校図書館の活用

○古典作品の内容理解を図る活用

- ・現代語訳だけでなく、解説や挿絵などの充実した図書資料の選定と準備。
- ・交流活動を設定と、司書を含めた教師によるそのデモンストレーションの実施。

○読書活動に対する抵抗の軽減を図る活用

- ・司書による読み聞かせコーナーの設置。
- ・司書による、個に応じた図書資料案内の実施。

## 1. 単元名 『徒然草』に挑戦！～選んだ章段のタイトルを付けて後輩に残そう～

## 2. 単元について

### (1) 本単元で行う言語活動

本単元では、生徒たちを古典に親しませる授業の構築をめざして、生活に生かす視点で『徒然草』の章段を数多く読ませることをねらい、後輩に伝えたい章段を選び、タイトルを付けて紹介する言語活動を行う。

これは、中学校学習指導要領・国語の2年「ア 伝統的な言語文化に関する事項」及び2年「C 読むこと」を踏まえて、言語活動例の「ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること」に基づいている。

『徒然草』は、滑稽な話や友人に関することなど、中学2年生にも示唆に富む内容が数多く含まれている。人間の本質、人との関わり方、人生・生き方、上達・成功への秘訣など、生徒は様々な学ぶことができるであろう。一方、各章段は文章量として比較的短くまとまっており、生徒にとって親しみやすい作品と言えよう。

本単元では、こうした魅力や特徴をもつ『徒然草』の章段を数多く読ませるために、後輩に伝えたい章段を選ぶ言語活動を設定することにした。来年度に最上級生として、新入生も含めた後輩に伝えるという目的及び相手意識を明確にもたせることで、読みの主体性を高めることができると考えた。また、後輩に紹介するに際し、選んだ章段に「タイトル」を付けることは、古典の作品世界と現在の実生活との接点を見出してその内容を端的に表現することであり、好悪などの感想にとどまらず古典を読み自分の考えをもつことにつながると考えた。本単元を通して、実生活で生かす視点をもち古典の作品世界に数多く触れ、自分の生活や体験と関連付けて自分の考えをもつことは、今後の読書生活で古典を手にするきっかけになると考える。

### (2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元では、中学校学習指導要領国語（2年）における、次の三つの指導事項に関する知識や技能を身に付けさせようとしている。「C 読むこと」の「エ 文章に表れている

ものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと。」と「オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。」及び「ア 伝統的な言語文化に関する事項」の「(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。」である。

「C 読むこと」の「エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。」に関する知識や技能を身に付けさせるためには、まず、『徒然草』の書評を紹介することにした。現在『徒然草』を人生の指針やバイブルとして章段を紹介したり解説したりする書籍は数多くある。その書評を通して、本单元における『徒然草』の読みにおいて「生活に生かす」という視点をもたせることにした。次に、こうした書籍の目次を見せたり、教科書教材の「仁和寺の法師」を読んで感想を交流したりすることで、同じ章段であっても異なる生かし方を見出せることに気付かせ、『徒然草』の多様性のある読み方をとらえさせることにした。具体的な学習材には、原文への抵抗を極力軽減して数多くの章段を読ませるために、『徒然草』の現代語訳や解説のある図書資料を数多く集めた。具体的な学習は、多くの章段に触れさせ、後輩に紹介したい章段を選ばせ、その章段のタイトルを付けさせるとともにその理由をカードに書かせることにした。これは、章段の内容をとらえて自分の知識や体験と関連付けさせ、自分たちの生活への生かし方を見出させるためのものである。また、「ア 伝統的な言語文化に関する事項」の「(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。」に関する知識や技能を身に付けさせることにも機能すると考えた。しかし、章段内容に魅力を感じるものの、生活上の生かし方が漠然として自分の考えを具体的にもてなかつたり、それを端的に表すタイトルを付けられなかつたりする生徒もいると考えられる。そこで、後輩に伝えたい章段を選び、一通り紹介カードを書いてみた時点で、選んだ章段の生活上の生かし方やそのタイトルについて意見を交わしたり助言し合ったりする交流活動を設けることにした。自分の考えを広げることが目的にした交流活動とすれば、友達の助言で漠然としていた考えが明確になって紹介カードが完成したり、同じ章段であっても異なる生かし方のあることを目の当たりにしたり、あまり気に留めなかつた章段の魅力を発見したりすることもあると考えられる。各章段の生活上の生かし方について、他者の意見も含めてその考えを広げてより良いものを選ぶことができたり、新たな考えを見出したりすることにもつながるであろう。こうした交流活動を具現化するためには、交流のねらいとポイントを明示するとともに、実際の交流活動をモデルとして提示することにした。具体的には、次の三つのポイントを踏まえた交流活動の台本を作成し、本单元を進めるT1（教諭）とT3（司書）にT2（教諭）を加えた3人が話し合っている姿を生徒に見せることにした。

- ①章段の生かし方について、班員の漠然とした考えを明確にする意見や助言。
- ②章段の生かし方やタイトルについて、班員の考えと異なる考えの提示。
- ③章段の生かし方やタイトルについて、交流を通して得た新たな考えの提示。

なお、交流のねらいとポイントから、交流し易い3名～6名の班を構成させることにした。

「C 読むこと」の「オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。」に関する知識や技能を身に付けさせるためには、先に触れたように『徒然草』の書評により「生活に生かす」という読む視点と目的を明確にもたせる

ことにした。そして、『徒然草』の現代語訳や解説のある図書資料を数多く集め、自由に手にとって読めるようにして、読書記録をとらせることにした。具体的には、目次を目安に読ませ、『徒然草』全 243 段の中から、自分が興味をもって最後まで読めた章段には「○」を付けて簡単な感想や意見などをメモさせることにした。また、最後まで読んだが特に印象に残らなかった章段には「△」を付けさせ、読み始めたが途中でやめた章段には「×」を付けさせることにした。こうした読書記録を付けることで、数多くの章段に触れようとする主体性が高まり、後輩に伝える価値ある章段を見極めようとする意識の高揚が図れると考えた。さらに、先に触れたように、内容に関心をもてた章段の「タイトル」と「タイトル設定の理由」を後輩への紹介カードに書かせることにした。なお、『徒然草』の章段は比較的短い文章であるが、生徒によっては主体的に多くの章段を読むことが難しいこともある。そこで、T3（司書）による読み聞かせを通して多くの章段に触れる場をつくることにした。そして、後輩たちが自分の興味・関心に応じて『徒然草』の各章段を読むことができるように、紹介カードを分類・整理していくことにした。これは、『徒然草』の各章段の生かし方の多様性に改めて気付かせるものである。また、分類・整理した紹介カードを学級全体で集めて概観したり読んだりすることは、「ア 伝統的な言語文化に関する事項」の「(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。」に関する知識や技能を身に付けさせることにも機能すると考えた。

### (3) 継続した学習

生徒たちは、今年度『平家物語』を学習材にして、関心のある章段を選び、原文の群読CD作りを行っている。それは、伝統的な言語文化に関する事項の「(ア) 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。」に関する知識や技能を身に付けさせるものである。群読に際しては、図書館メディアセンターの多くの図書資料にあたり、史実にも触れて登場人物の心情や考えなどを読み取り、工夫を凝らして群読に取り組む姿が見られた。また、より良い群読CDを作るために繰り返し録音に臨む姿も見られた。

こうした生徒の姿において、本単元では、原文という抵抗を極力軽減して、現代語訳や解説を通して古典の作品世界に数多く触れさせることに重点を置くことにした。そして、先に触れた「『平家物語』の群読CD作り」と同じように「『徒然草』章段紹介カード作り」をして形に残すことにした。さらに、それを後輩たちに残すことで、主体的な読みを促すことにした。2学年の生徒たちは、現在「中堅学年」として部活や委員会で活動の中心になってまだ間もない時期であり、後輩への指導の在り方や人間関係などに敏感である。本校は部活動に参加している生徒が多く、それが学校生活の核になっている生徒も少なくない。そのため「先輩」としての自分たちの立場に非常に意識を高くもつ面が伺える。その先輩としての意識を大切にして、「私たちが選ぶ『徒然草』の各章段やタイトルが、後輩たちの『徒然草』を読む際のガイドになる」と伝えることで、学習意欲を喚起できると考えた。これは、本校の研究主題である「さまざまな人々と共に生きる力を育み、学ぶ楽しさを知り、自己肯定感を高める授業の在り方」の追究に即したものと言えよう。

## 3. 単元の目標

### (1) 関心・意欲・態度

- ・生き方に関する知識や指針などを求めて『徒然草』を読み、『徒然草』に表れるものの見方や考え方に自分の知識や体験を関連付けて、自分の考えをもととする。
- ・生き方に関する知識や指針などを求めて『徒然草』を読み、後輩に伝えたい章段を数多く集めて分類・整理しようとする。
- ・『徒然草』を読んで、登場人物の思いや作者である吉田兼好のものの見方や考え方をとらえようとする。

## (2) 読むこと

- ・生き方に関する知識や指針などを求めて『徒然草』を読み、『徒然草』に表れるものの見方や考え方に自分の知識や体験を関連付けて、自分の考えをもつことができる。
- ・生き方に関する知識や指針などを求めて『徒然草』を読み、後輩に伝えたい章段を数多く集めて分類・整理することができる。

## (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・『徒然草』を読んで、登場人物の思いや作者である吉田兼好のものの見方や考え方をとらえることができる。

## 4 本単元の指導と評価の計画（6時間扱い）

| 次 | 時間 | ねらい<br>学習活動  | ○指導のポイント<br>☆必要な支援  | 評価規準（〔 〕）<br>評価方法（・）  |
|---|----|--|---|---|
| 一 | 1  | ◎ 随筆『徒然草』の特徴を把握して単元のねらいをとらえ、学習の見通しをもつことができる。                   |   |   |
|   |    | ① 「だまし絵」を見て、1枚が2通りに見えることを知り、視点を変えることにより、新たな発見や物事の真実を見出せることを知る。 | ○随筆には、「だまし絵」と同じ様に、作者が身近な事象から独自のものの見方や考え方で切り取った真実が書かれていることを伝える。<br>☆視点を与え、1枚の絵が2通りの絵に見えること知らせる。    | [関]随筆『徒然草』の概要及びその生かし方・多様性に触れ、学習のねらいをとらえて、生活に生かせる・後輩に伝えたい章段を探そうとしている。<br>・授業中の様子や学習の振り返りを通して、『徒然草』や本単元における言語活動に関心をもってしているかをとらえて評価する。 |
|   |    | ② 『徒然草』について知っていることを想起した後、幾つかの書評を読み、その作品の特徴から本単元の学習のねらいをとらえる。   | ○『徒然草』の概要を知らせ、その特徴から、生活に生かす視点で作品を読み、自ら生かすとともに、後輩に伝えることをとらえさせる。<br>☆『徒然草』の概要を簡単にとらえられる資料を作成して提示する。 |   |

|   |   |  |  |   |
|---|---|--|--|---|
|   |   | <p>③学習方法のモデルとして、教科の「仁和寺の法師」を読み、「章段の生かし方」や「タイトル」を考えて学習の見通しを持つ。</p>                | <p>○T2が範読して解説し、T1が生徒の考えを引出し、1つの文章が様々に生かせることに気づかせる。<br/>☆生徒の表現活動が豊かになるように、T1、T2が異なる生かし方を提示する。</p>   |   |
| 二 | 2 | <p>◎ 各章段を読み進め、生活に生かせる章段を選び出すことができる。</p>  |  |   |
|   |   | <p>④生活に生かす視点で各章段を読み進め、後輩に伝えたい章段を選び出す。<br/>※必要に応じてT2の読み聞かせを聞き、後輩に伝えたい章段を選び出す。</p> | <p>○読書記録をとらせて、数多くの章段（古典の世界）に触れさせる。<br/>☆図書資料の目次に目を向けさせて、生活に生かせそうな章段を選びながら読むように促す。<br/>☆次の観点で読書記録をとらせる。<br/>「○」興味をもち読めた<br/>「△」読んだが関心は無い<br/>「×」途中で読むのを止めた<br/>☆「○」をつけた章段については、感じたことや考えたことをメモさせ、「生かし方」や「タイトル」を考える基にさせる。<br/>☆興味・関心をもった章段については、解説やコラムなどにも目を向けさせる。<br/>☆生徒の読む力に合わせて図書資料を勧める。<br/>☆一人で読み進めることが苦手な生徒は、T2の読み聞かせコーナーを活用させる。</p> | <p>[関]『徒然草』を読んで、登場人物の思いや作者のものの見方や考え方をとらえようとしている。<br/>・理解しやすい本を探す姿、ノートや学習の振り返りを通して、登場人物や作者の思いや考えをとらえようとしているか評価する。</p> <p>[伝]『徒然草』を読んで、登場人物の思いや作者である吉田兼好のものの見方や考え方をとらえている。<br/>・ノートや学習の振り返りを通して、登場人物や作者の思いや考えをとらえているか評価する。</p> <p>[関]『徒然草』に表れるものの見方や考え方と自分の知識や体験を関連付けて、生活に生かせる自分の考えをもとうとしている。<br/>・ノートや学習の振り返りを通して、自分の生活に関連付けて感じたり考えたりしようとしているか評価する。</p> <p>[読]『徒然草』に表れるものの見方や考え方と自分の知識や体験を関連付け、生活に生かせる自分の考えをもっている。</p> |

|   |   |   |  |  |
|---|---|---|--|--|
|   |   |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートや学習の振り返りを通して、自分の生活に関連付けて感じたことや考えたことが記されているか評価する。</li> </ul>   |
| 三 | 2 | ◎ 後輩に紹介したい生活に生かせる章段を選び具体的にどのような人やどのような場面で生かせるか自分の考えを明確にもつ。                      |  |  |
|   |   | ⑤後輩に伝えたい章段を三つ以上選択して、紹介カードを書く。<br>※紹介カードには、章段の「タイトル」と「タイトル設定の理由」を書く。             | ○紹介カードに、選んだ章段のタイトルを書かせる。<br>☆タイトルは、選んだ章段の生活上の生かし方を端的に表す言葉や、それに関連して後輩の興味を引く言葉を選ぶよう促す。<br>○紹介カードに、タイトル設定の理由を書かせる。<br>☆具体的には、選んだ章段の大よその内容と、そこからどんな人やどのような場面の時に読むと役立つと考えたかを書くよう促す。 | [関]『徒然草』に表れるものの見方や考え方と自分の知識や体験を関連付けて、生活に生かせる自分の考えをもとうとしている。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介カードや交流活動及び学習の振り返りを通して、自分の選んだ章段を自分の生活に関連付けて感じたり考えたりしようとしているか評価する。</li> </ul> |
|   |   | ⑥紹介カードを使って、自分が選んだ章段を学級内で紹介する交流活動の準備をする。<br>※章段の大よその内容と、そこから考えた生活上の生かし方、タイトルを書く。 | ○選んだ章段の生活上の生かし方や、タイトル設定の理由を述べる発表原稿を書く。(第～段は、～な内容で、～のように生かせるので、～というタイトルにしました。)<br>☆章段の生活上の生かし方やタイトルが見いだせない場合は、班員に相談できるように、章段内容を伝えられるように準備させる。                                   | [読]『徒然草』に表れるものの見方や考え方と自分の知識や体験を関連付けて、生活に生かせる自分の考えをもっている。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介カードや発表原稿、交流活動の様子や学習の振り返りを通して、自分の生活に関連付けて感じたことや考えたことが記されているか評</li> </ul>        |

|          |          |   |  |   |
|----------|----------|---|--|---|
|          |          | <p>⑦選らんだ章段の生かし方について、自分の考えを広げる交流活動を行い、章段の紹介カードを完成させる。</p> <p>※T1, T2, T3によるデモンストレーションを見る。</p> <p>※自分の選らんだ章段とその生かし方やタイトルを発表したり、発表にたいする自分の考えを述べ合ったりする。</p> <p>※交流後に、必要に応じて、紹介カードの加筆・修正を行う。</p> | <p>○選らんだ章段の紹介カードを友達に見せて、生活上の生かし方や、タイトル設定の理由を述べ合わせる。</p> <p>☆交流活動のモデルとして、次のねらいとポイントで、T1, T2, T3でデモンストレーションを行う。</p> <p>☆選らんだ章段に対する自分の考えを広げる目的の交流であることを明示する。</p> <p>☆章段の生かし方について、班員の漠然とした考えを明確にする意見や助言をする場面を見せる。</p> <p>☆章段の生かし方やタイトルなど、班員と異なる考えを述べる場面を見せる。</p> <p>☆交流を通して新たな考えを得て述べ合う姿を見せる。</p> <p>☆自分が選り読んだ図書資料を班員に適宜見せられるように準備させる。</p> <p>○選らんだ章段の紹介カードを完成させる。</p> <p>☆友達の意見を取り入れて加筆・修正しても良いことを確認する。</p> | <p>価する。</p>   |
| <p>四</p> | <p>1</p> | <p>◎ 後輩に伝えたい章段の紹介カードを、分類・整理することができる。</p>  | <p>○作成した章段紹介カードを4つのテーマで分類させ、学級全体で集めて1冊にまとめさせる。</p> <p>☆4つに分類する際、二つ以上に関連する可能性がある場合、どちらに重きを置くかを考えさせる。また、適宜交流をして、友達の意見を参考にして決定させる。</p>  | <p>[関]生活に生かす視点で集めた後輩に伝えたい『徒然草』の章段を、分類しようとしている。</p> <p>・作成した紹介カードを分類している様子や、学習の振り返りを通して、後輩に伝えたい章段を4つのテーマに分類しようとしているか評価する。</p> <p>[読]生活に生かす視点で集めた後輩に伝えたい『徒然草』の章段を分類することができる。</p> <p>・作成した紹介カードを分類している様子や、学習</p> |

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
|  |  |   | の振り返りを通して、後輩に伝えたい章段を4つのテーマに分類することができているか評価する。   |
|  | ⑨単元全体の学習の振り返りをする。<br>※次の三つの項目について振り返る。 | ○選らんだ章段の数を確かめさせ、次の3つの視点を与えて単元全体を振り返らせ、自己の学びを自覚させる。<br>☆作品内容の特徴や、特に心に残った章段について。<br>☆兼好法師のものの見方や考え方の特徴、思想について。<br>☆古典及び随筆の特徴やその読み方について。 | [関]単元全体を振り返り、作者のものの見方や考え方を改めてとらえようとしている。<br>・単元全体の振り返りを通して、作者のものの見方や考え方、思想などをとらえようとしているか評価する。<br><br>[読]単元全体を振り返り、作者のものの見方や考え方をとらえている。<br>・単元全体の振り返りを通して、作者のものの見方や考え方、思想などをとらえているか評価する。 |

## 5 本時の指導（5 / 6）

### （1）本時の目標

[関] 『徒然草』に表れるものの見方や考え方と自分の知識や体験を関連付けて、生活に生かせる自分の考えをもとうとしている。

[読] 『徒然草』に表れるものの見方や考え方と自分の知識や体験を関連付けて、生活に生かせる自分の考えをもつことができる。

### （2）本時の展開

| 時配 | 学習活動と児童生徒の反応  | 指導のポイント（○）必要な支援（☆）<br>評価規準（[ ]）と評価方法（・）   |
|----|---|---|
| 15 | <p>選らんだ章段について考えを広げ、紹介カードを完成させよう。</p> <p>①本時の学習のねらいと流れを知り、教師の交流会のデモンストレーションを見て、交流会の見通しをもつ。</p> <p>・交流会の目的を自覚し、紹介カードの提示方法や発表の手順・発言内容など、交流会の具体的なイメージをもつことができる。</p> | <p>○本時の学習のねらいや発表の手順を示した上で、T1, T2, T3による交流会のデモンストレーションを行い、発表方法や発言内容など交流会の見通しをもたせる。</p> <p>☆T1, T2, T3の発言がどのような意味をもつものか、適宜解説を入れるとともに、生徒に声かけや指名をして、共に考えさせる。</p> <p>[関]交流を通して、『徒然草』に表れるものの見方や考え方と自分の知識や体験を関連付</p> |



|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>30</p> <p>②自分が選らんだ章段について、大よその内容を説明し、生活上の生かし方やそのタイトルについて示し、感想や意見を述べ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が選らんだ章段の生かし方について、漠然とした考えを明確にすることができる。</li> <li>・自分が選らんだ章段の生かし方やタイトルについて、新たな見方や考えを得ることができる。</li> <li>・個人では気付かなかった章段の魅力や新たな生かし方などに気付くことができる。</li> </ul> <p>③章段紹介カードを完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班員の意見を参考にしたり取り入れたりし、より充実した紹介カードを作成することができる。</li> </ul> <p>5</p> <p>④まとめとして学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『徒然草』の各章段の読みの多様性に気付くことができる。</li> <li>・交流により読みが広がったり深まったりすることに気付くことができる。</li> </ul> | <p>けて、生活に生かせる自分の考えをもとうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師のデモンストレーションを見る姿、交流活動の様子や学習の振り返りを通して、自分の生活に関連付けて感じたことや考えたことを書こうとしているか評価する。</li> </ul> <p>○T1, T2, T3で分担して各班の交流状況を確認し、適宜助言をして、各々の考えが広がるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆自分の選らんだ章段の大よその内容を知らせるために、活用した図書資料を班員にも適宜見せられるよう準備させる。</li> <li>☆章段の生かし方やタイトルが見いだせていない場合、共に考えるよう促す。</li> <li>☆同じ章段を選んでいる場合は、発表者に続き自分の考えを述べるように促す。</li> <li>☆自分が選ばなかった章段だが、生活に生かせると思った内容はノートにメモをとらせる。また、交流を通して見出した新たな考えは、ノートにメモをとらせる。</li> </ul> <p>○必要に応じて紹介カードの加筆・修正を行わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆班員の意見や助言、そのメモを活用させる。</li> </ul> <p>[読]『徒然草』に表れるものの見方や考え方と自分の知識や体験を関連付けて、生活に生かせる自分の考えをもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介カードや発表原稿、交流活動の様子や学習の振り返りを通して、自分の生活に関連付けて感じたことや考えたことが記されているか評価する。</li> </ul> | <p>けて、生活に生かせる自分の考えをもとうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師のデモンストレーションを見る姿、交流活動の様子や学習の振り返りを通して、自分の生活に関連付けて感じたことや考えたことを書こうとしているか評価する。</li> </ul> <p>○T1, T2, T3で分担して各班の交流状況を確認し、適宜助言をして、各々の考えが広がるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆自分の選らんだ章段の大よその内容を知らせるために、活用した図書資料を班員にも適宜見せられるよう準備させる。</li> <li>☆章段の生かし方やタイトルが見いだせていない場合、共に考えるよう促す。</li> <li>☆同じ章段を選んでいる場合は、発表者に続き自分の考えを述べるように促す。</li> <li>☆自分が選ばなかった章段だが、生活に生かせると思った内容はノートにメモをとらせる。また、交流を通して見出した新たな考えは、ノートにメモをとらせる。</li> </ul> <p>○必要に応じて紹介カードの加筆・修正を行わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆班員の意見や助言、そのメモを活用させる。</li> </ul> <p>[読]『徒然草』に表れるものの見方や考え方と自分の知識や体験を関連付けて、生活に生かせる自分の考えをもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介カードや発表原稿、交流活動の様子や学習の振り返りを通して、自分の生活に関連付けて感じたことや考えたことが記されているか評価する。</li> </ul> |
|---|---|---|

## 6 生徒の表れ



T1,2,3による話し合い  
デモンストレーション



生徒たちは手元のメモの束を見ながら、話し合い活動。机間巡視をしながらアドバイス。

## 7 成果と今後の課題

本研究では、生徒たちを古典に親しませる授業の構築をめざして、学校図書館の活用のあり方として、次の2点を追究してきた。

- 古典作品の内容理解を図る学校図書館の活用
- 読書活動に対する抵抗の軽減を図る活用

具体的には、まず、生徒の実態から身に付けさせたい力を明確にして、それを身に付けさせることに適した学習材及び言語活動を見出した。次に、教師が実際にその言語活動を行ってみて、生徒の主体的な学びを具現化するための手立てを講じていく中で、学校図書館の活用のあり方を見出して単元を構想した。そして、単元の目標を達成した生徒像と授業中の生徒の様子や学習の振り返りの声を照らし合わせてみた。（○生徒の学習の振り返り・授業中の様子）本研究で明らかにされたこと、また、課題として考えられることを、研究のまとめとして述べる。

### （1）古典作品の内容理解を図る学校図書館の活用

- ①現代語訳だけでなく、解説や挿絵などの充実した図書資料の選定と準備をすることは、古典作品の内容理解を図ることにつながる。

- 同じ章段で、本ごとに内容が少しずつ違い、比較して読むと楽しかった。
- 本の中の説明や細かい所までしっかりみて、章段にあったタイトルを付けられた。
  - ・漫画で描かれた『徒然草』の世界に読み耽る生徒の姿も見られた。

今後は、図書資料の特徴をとらえて分類・整理し、生徒への提示の仕方に工夫をすることで、生徒一人一人が自己の状況に合わせて図書資料を選択できるようになるだろう。

- ②生徒の交流活動を設定して、司書を含めた教師による話し合い活動のデモンストレーションを実施することは、古典作品の内容理解を図ることにつながる。

- 先生が読んだ作品が面白かった。もっといろいろな作品が知りたくなった。
- 同じ章段を読んでも周りの人たちや先生と感じ方が違い楽しかった。
- 班の人に相談したら、良いタイトルが見つかりました。お互いに誉め合ったり、指摘したりして、楽しかったです。
- 友達が選らんだ章段の内容を聞いていて、その章段のタイトルなど、いいなと思ったやつは全部ノートに記録した。
  - ・図書館のテーブルに班員が集まって座るため、親密感も出て交流する雰囲気が自ずと作られていた。

今後は、様々な単元を通して目的に応じた交流活動を体験させ、学習内容や学習状況に合わせて交流活動を活用できるようにすることが課題である。交流活動のデモンストレーションは、生徒の反応を見ながら実際にやって見せることに効果はあるが、映像化して繰り返し見ることができる教材にして、話す・聞くことの指導との連関を図ることも可能であろう。その際、司書の協力は大変大きなものである。

## (2) 読書活動に対する抵抗の軽減を図る学校図書館の活用

### ① 司書による読み聞かせコーナーの設置は、読書活動に対する抵抗の軽減を図ることにつながる。

○全部は読めないけど、面白そうなものから楽しんでいきたい。読み聞かせ、良かったです。今日も、読み聞かせでたくさんの章段を読むことができた。

・読書に抵抗のある生徒も楽しんで聞き入り、読書記録を付けたり、感想をノートに書いたりする姿が見られた。

今後は、こうした読書活動を適宜取り入れた授業を継続的に行いながら、段階的に読み聞かせコーナーから個人の黙読へ移行する手立てを見出し、個々の読書活動を充実させていくことが課題である。

### ② 司書による、個に応じた図書資料案内の実施は、読書活動に対する抵抗の軽減を図ることにつながる。

○読み聞かせをしてもらった。高桑先生の音読がとてもわかりやすかった。詳しく教えてくれたので、より深くその章段について知ることができた。

・読み聞かせそのものが、そこに集まった生徒に応じた図書資料及び章段の選定になっていた。

・同じ章段の現代語訳であっても、図書資料により使用されている語彙の難易度が異なるため、手にする本によって読書活動が停滞してしまう姿が見られた。

今後は、量的にだけでなく、質的にも生徒の実態に応じて図書資料を吟味して用意することが必要である。生徒がよく手にする図書資料について来年度に引き継ぐなど、継続的に本単元を実施する取り組みも必要であろう。

## (3) 身に付けさせたい力を養うのに適した学習材と言語活動の選定

### ① 生活に生かす視点で『徒然草』の章段を数多く読み、作品に表れるものの見方や考え方に自分の知識や体験を関連付けて、自分の考えをもつことができる。

○「○」がつく本があって、本を読むのが楽しくなる。

○タイトルを付けるとき、その章段の内容を更に理解しようとした。

○自分が選らんだ章段を同じように後輩が選んでくれるとは限らないけど、自分が選んだ章段を読んでもくれるだけで、頑張っただけかいたかと思える。

随筆で、比較的短い文章の章段が多いことから、読書記録を活用して自己の興味・関心に基づき読み進めることができていた。また、後輩に伝えたい章段を選び、タイトルを付けるという言語活動と場の設定も適していたと言えよう。さらに、先に触れたように、交流活動を設定し、その充実を図るためのデモンストレーションも有効であった。今後は、他のジャンルの文章にも多く触れるための言語活動やその手立てを見出していくことが課題である。

②生活に生かす視点で『徒然草』の章段を数多く読み、後輩に伝えたい章段を数多く集めて分類・整理することができる。

○分類は、人によって感じ方が違うので分けるのは大変した。読みに行きたい。

○「人間関係」が一番みんなが選ぶ章段だった。

本単元では、生徒の読みの状況や作成された紹介カードを見て「人間関係」「部活・スポーツ」「勉強」「その他」といった4つに分類させたが、今後は「生活に生かす」という大きな視点ではなく、もっと小さな視点をもたせて読ませることにより、より目的的な読書活動へ導くことができると考えられる。

③生活に生かす視点で『徒然草』の章段を数多く読むことで、登場人物の思いや作者である吉田兼好のものの見方や考え方をとらえることができる。

○『徒然草』を全部読んだら兼好法師の人柄がでるなと思いました。

○兼好法師は、色々な事に関心があるから、色々なジャンルで物事を考えられる

○『徒然草』のほとんどが元気がもらえたりすることを書いているので、優しいなと思いました。

読む量を増やす手立てとして読書記録を付けさせたが、今後は単元のねらいに応じて、読む視点やとらえさせる内容を操作できる手立てを見出していくことが課題である。

#### (4) 古典に親しむ態度の醸成

○現代の自分たちに人生の助言をしているようだった。

○古い随筆など、共感できる部分は少なく読みづらいけど、色々なものや出来事について置き換えてみると、読みやすくなり共感できたりする。

○全部の章段を、サッカーのことに置き換えて読めば面白いなと思った。

○今までの古典とは違って、読みやすく、内容をきちんと理解することができた。

物語ではないけど、また読みたいと思うことができた初めての作品でした。

○随筆は、一部分だけ読んでもためになるところがあるので、簡単に読めるのでいいと思いました。

○随筆はその人の考えることなので、全てが正しいと思って読むのは良くないと思う。その人の考えと自分の考えを比べながら読むのがいいと思う。生かせる場面を考えながら読むのもいい。

○こんな時、兼好法師はどんな風にするだろう？と考えながら生活して、自分の読んだ章段も少し参考にしていきたい。

本研究で残された課題を追究するには、学校図書館を活用した古典に親しませる授業実践をさらに積み上げていくことが必要である。そのためには、言語活動に取り組む生徒の姿や、学習の振り返りにおける生徒の声に、教師が学ばなければならない。今後も、古典に限らず、学校図書館を活用した、国語の力を効果的に身に付けさせる単元の構想に努めていきたい。

徒然草 タイトルシート

年 組 番 名前

|            |            |  |     |
|------------|------------|--|-----|
| 章段         | 自分でつけたタイトル |  |     |
| タイトルを付けたわけ |            |  |     |
| 書名         |            |  | 出版社 |

徒然草 タイトルシート

年 組 番 名前

|            |            |  |     |
|------------|------------|--|-----|
| 章段         | 自分でつけたタイトル |  |     |
| タイトルを付けたわけ |            |  |     |
| 書名         |            |  | 出版社 |

## 『徒然草』章段読了票

年組名前

| 序段 |  |    |  |    |  |     |  |     |  |
|----|--|----|--|----|--|-----|--|-----|--|
| 1  |  | 26 |  | 51 |  | 76  |  | 101 |  |
| 2  |  | 27 |  | 52 |  | 77  |  | 102 |  |
| 3  |  | 28 |  | 53 |  | 78  |  | 103 |  |
| 4  |  | 29 |  | 54 |  | 79  |  | 104 |  |
| 5  |  | 30 |  | 55 |  | 80  |  | 105 |  |
| 6  |  | 31 |  | 56 |  | 81  |  | 106 |  |
| 7  |  | 32 |  | 57 |  | 82  |  | 107 |  |
| 8  |  | 33 |  | 58 |  | 83  |  | 108 |  |
| 9  |  | 34 |  | 59 |  | 84  |  | 109 |  |
| 10 |  | 35 |  | 60 |  | 85  |  | 110 |  |
| 11 |  | 36 |  | 61 |  | 86  |  | 111 |  |
| 12 |  | 37 |  | 62 |  | 87  |  | 112 |  |
| 13 |  | 38 |  | 63 |  | 88  |  | 113 |  |
| 14 |  | 39 |  | 64 |  | 89  |  | 114 |  |
| 15 |  | 40 |  | 65 |  | 90  |  | 115 |  |
| 16 |  | 41 |  | 66 |  | 91  |  | 116 |  |
| 17 |  | 42 |  | 67 |  | 92  |  | 117 |  |
| 18 |  | 43 |  | 68 |  | 93  |  | 118 |  |
| 19 |  | 44 |  | 69 |  | 94  |  | 119 |  |
| 20 |  | 45 |  | 70 |  | 95  |  | 120 |  |
| 21 |  | 46 |  | 71 |  | 96  |  | 121 |  |
| 22 |  | 47 |  | 72 |  | 97  |  | 122 |  |
| 23 |  | 48 |  | 73 |  | 98  |  | 123 |  |
| 24 |  | 49 |  | 74 |  | 99  |  | 124 |  |
| 25 |  | 50 |  | 75 |  | 100 |  | 125 |  |

|     |  |     |  |     |  |     |  |     |  |
|-----|--|-----|--|-----|--|-----|--|-----|--|
| 126 |  | 151 |  | 176 |  | 201 |  | 226 |  |
| 127 |  | 152 |  | 177 |  | 202 |  | 227 |  |
| 128 |  | 153 |  | 178 |  | 203 |  | 228 |  |
| 129 |  | 154 |  | 179 |  | 204 |  | 229 |  |
| 130 |  | 155 |  | 180 |  | 205 |  | 230 |  |
| 131 |  | 156 |  | 181 |  | 206 |  | 231 |  |
| 132 |  | 157 |  | 182 |  | 207 |  | 232 |  |
| 133 |  | 158 |  | 183 |  | 208 |  | 233 |  |
| 134 |  | 159 |  | 184 |  | 209 |  | 234 |  |
| 135 |  | 160 |  | 185 |  | 210 |  | 235 |  |
| 136 |  | 161 |  | 186 |  | 211 |  | 236 |  |
| 137 |  | 162 |  | 187 |  | 212 |  | 237 |  |
| 138 |  | 163 |  | 188 |  | 213 |  | 238 |  |
| 139 |  | 164 |  | 189 |  | 214 |  | 239 |  |
| 140 |  | 165 |  | 190 |  | 215 |  | 240 |  |
| 141 |  | 166 |  | 191 |  | 216 |  | 241 |  |
| 142 |  | 167 |  | 192 |  | 217 |  | 242 |  |
| 143 |  | 168 |  | 193 |  | 218 |  | 243 |  |
| 144 |  | 169 |  | 194 |  | 219 |  |     |  |
| 145 |  | 170 |  | 195 |  | 220 |  |     |  |
| 146 |  | 171 |  | 196 |  | 221 |  |     |  |
| 147 |  | 172 |  | 197 |  | 222 |  |     |  |
| 148 |  | 173 |  | 198 |  | 223 |  |     |  |
| 149 |  | 174 |  | 199 |  | 224 |  |     |  |
| 150 |  | 175 |  | 200 |  | 225 |  |     |  |